



## 2023年度「反核・平和マラソン」へのメッセージ

「反核・平和マラソン」を開催されるにあたり、日本非核宣言自治体協議会を代表してご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、“スポーツは平和とともに”を合言葉に、長きにわたり、核兵器廃絶・平和の声を全国各地で発信する取組みを続けておられることに、心から敬意を表します。

私たち日本非核宣言自治体協議会は、非核宣言を行っている自治体のうち、354自治体で組織しており、核戦争による人類滅亡の危機から、住民一人ひとりの暮らしを守るため、相互に連携しながら核兵器廃絶を訴えてきました。

世界に目を向けますと、ウクライナ危機が長期化し、再び核兵器が使用される危機感が高まっています。

このような混沌とした国際情勢下において、先月、被爆地広島でG7サミットが開催され、核保有国を含むG7の各国首脳が揃って被爆の実相に触れたうえで、核軍縮に焦点を当てた初のG7首脳文書である「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」が発出されたことは、大きな意義があったものと考えています。

G7広島サミットを、「核抑止に依存する世界」から「核兵器のない世界」に向かう転機とするために、私たち市民社会が力を合わせ、核兵器廃絶に向けた流れを後押しすることが重要です。

本日の「反核・平和マラソン」により、多くの皆様が平和への思いを共有し、核兵器廃絶の声を大きく広げられることを期待しています。

令和5年6月

日本非核宣言自治体協議会

会長（長崎市長） 鈴木 史朗